

# 平成 31 年産 水 稻 施 肥 設 計 (粒状タイプ)

土づくり: かいどーくん100kg または 粒状ミネカル200kg

10a 当たり施用量

品 種 名	施用タイプ	基 肥	中間追肥	穂 肥	
環境こだわり基準 みずかがみ	基肥一発タイプ	みずかがみ専用基肥一発肥料 60kg		/	
	大豆跡地	みずかがみ専用基肥一発肥料 40kg~60kg			
コシヒカリ	高チッソ成分 基肥一発タイプ	すご稲 (早生用) 30kg		/	
	基肥一発タイプ	L P S S-D80 50kg			
	施肥田植機	粘 質	たまのこし 20kg (田植え前施肥については25kg)		マルチサポート 1号 20kg (6月15日頃)
		中間・砂質	たまのこし 25kg (田植え前施肥については30kg)		
キヌヒカリ	高チッソ成分 元肥一発タイプ	すご稲 (早生用) 40kg		/	
	施肥田植機	夢葉パワー 40kg (田植え前施肥については45kg)			
日本晴 ゆめおうみ	高チッソ成分 、基肥一発タイプ	すご稲 (中晩生用) 45kg		/	
	基肥一発タイプ	ハイユークート024L 55kg			
	基肥一発こだわりタイプ	有機セラコートR355 60kg			
	施肥田植機	夢葉パワー30kg (田植え前施肥については40kg)			
秋の詩	高チッソ成分 基肥一発タイプ	すご稲 (中晩生用) 40kg		/	
	基肥一発タイプ	ハイユークート024L 50kg			
	基肥一発こだわりタイプ	有機セラコートR355 60kg			
	施肥田植機	夢葉パワー 30kg (田植え前施肥については35kg)			
滋賀羽二重糯	施肥田植機	夢葉パワー20kg (田植え前施肥については25kg)	NK-C20 5kg (6月25日頃)	NK-C20 1回目15kg 2回目(1週間後)10kg 3回目(出穂直前)10kg	

(注) 県環境こだわり農産物基準の水稲栽培について、化学合成肥料の窒素成分投入量は4kg以下との制限がありますので、制限以上に施用しないようご注意ください。

## 平成 31 年産 水 稻 施 肥 設 計 (粒状タイプ)

土づくり: かいどーくん100kg または 粒状ミネカル200kg

10a 当たり施用量

品 種 名	施用タイプ	基 肥	中間追肥	穂 肥
			(6月15日頃)	
早生用 (主にコシヒカリ、 キヌヒカリ)	大豆跡地	新豆あと一発(早生用) 30kg	コシヒカリは、マ ルチサポート1号 20kg施用	/
中晩生用 (主に秋の詩、日本晴)	大豆跡地	新豆あと一発(中晩生用) 30kg		

10a 当たり施用量

品 種 名	施用タイプ	基 肥	中間追肥	穂 肥
			(6月15日頃)	
環境こだわり栽培 対応 コシヒカリ	施肥田植機	ハーフゆうき (有機態チッソ50%) 30kg	マルチサポート1号 20kg	滋賀こだわり ハーフコート306 (有機態チッソ50%) 36kg
		有機アグレット844 40kg		穂太郎 L 26kg
		楽すけ 60kg		/
環境こだわり栽培 対応 キヌヒカリ	施肥田植機	ハーフゆうき (有機態チッソ50%) 40kg		滋賀こだわり ハーフコート306 (有機態チッソ50%) 30kg
		有機アグレット844 40kg		穂太郎 L 26kg
		楽すけ 60kg		/

## 平成 31 年産 水 稻 施 肥 設 計 (ペーストタイプ)

土づくり かいどーくん100kg または 粒状ミネカル200kg

10a 当たり施用量

品 種 名	施用タイプ	基 肥	中間追肥	穂 肥
環境こだわり基準 みずかがみ	施肥田植機	フレーバーペースト846(有機態チッソ50%) 40kg		滋賀こだわりハーフコート306 36kg
コシヒカリ	施肥田植機	Lペースト588 20kg	マルチサポート1号 20kg (6月15日頃)	穂太郎 L 30kgまたは NK-C20 1回目15kg 2回目(2週間後)10kg
環境こだわり基準 キヌヒカリ	施肥田植機	フレーバーペースト846(有機態チッソ50%) 40kg		滋賀こだわりハーフコート306 36kg
日本晴 ゆめおうみ	施肥田植機	Lペースト588 35kg		穂太郎 L 40kgまたは NK-C20 1回目20kg 2回目(1週間後)10kg
秋の詩	施肥田植機	Lペースト588 30kg		穂太郎 L 40kgまたは NK-C20 1回目20kg 2回目(1週間後)10kg
滋賀羽二重糯	施肥田植機	Lペースト588 20kg	NK-C20 5kg (6月25日頃)	NK-C20 1回目15kg 2回目(1週間後)10kg 3回目(出穂直前)10kg

トレーサビリティ(生産履歴記帳運動)は必要です。  
施用した資材はしっかりと記録を残しましょう。